製品名: FLT3 マウスモノクローナル抗体
カタログ番号: AMM81226
研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	FLT3
別名	FLK2; STK1; CD135; FLK-2
遺伝子 ID	2322.0
SwissProt ID	P36888
免疫原	大腸菌で発現したヒト FLT3 (AA: 930-991) の精製された組み換え断片。

背景

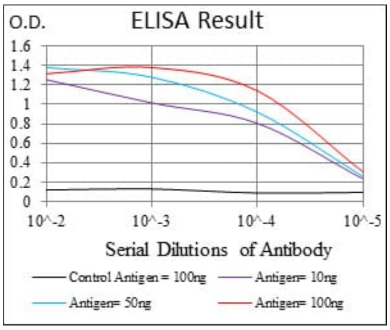
この遺伝子は、造血を制御するクラス III 受容体チロシンキナーゼをコードしています。この受容体は、5 つの免疫グロブリン様ドメインからなる細胞外ドメイン、1 つの膜貫通領域、およびキナーゼ挿入ドメインによって 2 つに分割された細胞質キナーゼドメインで

構成されています。この受容体は、fms 関連チロシンキナーゼ 3 リガンドが細胞外ドメインに結合することで活性化され、細胞膜上でホモ二量体形成を誘導し、受容体の自己リン酸化を引き起こします。活性化された受容体キナーゼは、その後、骨髄中の造血細胞のアポトーシス、増殖、および分化に関与する経路において、複数の細胞質エフェクター分子をリン酸化および活性化します。この受容体の恒常的活性化をもたらす変異は、急性骨髄性白血病および急性リンパ芽球性白血病を引き起こします。

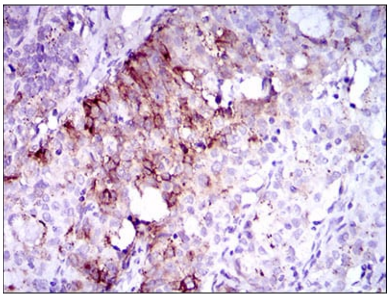
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、Hippo シグナル伝達経路

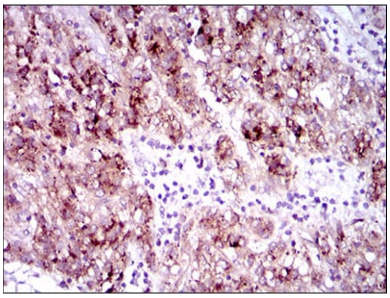
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



DAB 染色による FLT3 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による FLT3 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。